



あさぎり町

議会だより

～“まち”の動きがよく分かる！～



No. 70
R4年.2.3発行

あさぎり町議会

検索

通年議会 第4回会議

令和3年度一般会計補正予算 …… 3～4P
一般質問 …… 6～15P
南稜高校との意見交流会 …… 16～19P
常任委員会・一部事務組合報告 …… 21～23P
特集号 第8回中学生一日議会 (別冊)



議長 あいさつ

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えの事と存じます。議会を代表致しまして新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、水害で被災したくま川鉄道も部分運行ではありますが、湯前駅から肥後西村駅間が運行開始となり、全面開通への兆しが見え始めました。早期全面運行へ向けて、議会としても市町村一体となり、関係省庁への働きかけをしていかなければと、決意も新たにしているところです。幸いにして、あさぎり町出身の金子恭之衆議院議員が、岸田内閣において総務大臣に就任されました。「地域の繁栄なくして国の繁栄なし」という信念のもと、地方行政に影響力のある閣僚ポストに就任された事は、熊本県にとりましても、球磨・人吉にとりましても大変心強い限りです。今後のご活躍を期待致します。

本年が町民の皆様にとりまして、すばらしい幸多い年となります様ご祈念申し上げます。

令和四年一月吉日

あさぎり町議会 議長 徳永 正道

一般会計補正予算 3億4,258万円追加

(主なもの)

新型コロナウイルス感染症対策及び公共施設個別施設整備

- 子育て世帯への臨時特別給付金…………… 1億1,900万円
- 第2庁舎建設実施設計委託料…………… 7,000万円
- 旧免田中学校・旧岡原中学校プール解体工事…………… 6,170万円
- あさぎり中学校大規模改修設計委託料…………… 2,400万円
- 上小学校屋根改修工事…………… 8,300万円



旧免田中プール



旧岡原中プール



あさぎり中学校体育館の
屋根材の剥がれ



雨漏りによる
上小学校屋根改修

審議内容の抜粋

問 上小学校の今回の雨漏り改修は、部分改修でなく大規模改修とのことだが、専門業者の判断か。

答 地元工務店、教職員、教育課担当職員立会で確認した。

問 中学校の長寿命化改修計画は特別支援教室の増加、仮設校舎の必要性、バリアフリー化、内外装の破損劣化が課題とのことだが、今回補正の理由は。

答 令和4年度から実施予定だったが、仮設校舎の必要性など無理のない工期、工法で行い、生徒への影響を最小限にするため今回前倒しとなった。

問 ヘルシーランドの指定管理業務を3年間から5年間に変更した理由は。

答 5年間ですることによって経費を抑えることができると判断した。

問 子育て世帯への臨時交付金の18歳以下に5万円現金とクーポン券5万円を現金化、その判断を地方に任せるとのことだが。

答 国の補正予算成立後説明があるので、その時点で情報収集に努め、判断する。

問 新型コロナウイルスワクチンの3回目接種は、半分以上は年度内できるとか、また、完了見込みは。

答 2回目接種後8か月経過となるので、65歳以上の方と早めに接種された方は本年度3月末までに接種予定。

問 地域の福祉委員会が設置され、自主防災の観点から避難者名簿を作成するよう指導があり、地域の支援者の把握はできている。今回の災害時避難要援護者支援システムの内容は。

答 ライセンス取得者を2名として作業の充実を図っていく。また条例の制定については協議を進めており、システムの中の情報開示についても検討している。

問 庁舎建設基本設計の段階でグレードが高いといわれていたが、経費増にならないよう十分配慮する。

問 田んぼダム協力支援事業助成金で実施した400aだが、これぐらいで実証実験が果たしてきたのか。

答 参加者を増やすような方策を県と協議していく。

令和3年度一般会計補正予算 (第6号)に対する修正動議

否決
6対7

令和3年度一般会計補正予算(第6号)に対する修正動議が、小谷議員他2名から提出された。審議の結果賛成少数で否決となり、その後原案が賛成多数で可決された。



修正案の内容及び審議概要

○第2庁舎建設事業実施設計委託料7,000万円・中学校長寿命化改修事業設計監理委託料2,400万円の減額

補正予算修正案の提案理由

第二庁舎建設設計委託料7,000万円の減額

約2,000㎡の床面積と約12億6千万円の概算見込み額を前提としており、その必要性や規模などについて、十分な理解が住民の間や議会内部でも共有されておらず、このままでは将来に禍根を残しかねない過大な庁舎建設整備となることを恐れるもので、再検討し次善のより良き案を模索すべき。

学校管理費の委託料2,400万円の削減

個別計画策定から僅か半年余りでの突然の事業年度前倒し案で、事業着手の前提であるべき現状把握や現場確認などが一切無い中、その是非を判断する材料を持ち得ていない状況にある。まず現状確認等の調査活動を優先し、その後の議論により必要に応じた再提案を求めたい。

質疑

溝口議員 令和2年2月18日の改選前の議会防災拠点整備特別委員会で方向性を決めたことは意義あることである。住民説明会の出席者は少なかつたが、住民の代表は議会議員であり、十分な時間と費用をかけて議論を尽くしてきたと思っという理由は。

小谷議員 改選前の特別委員会で意見の取りまとめはされているが、本会議での委員長報告はあつていない。住民説明会で大きな反対意見はなかつたということだけで、住民の理解が得られたとの説明は違う。

小泉議員 中学校の長寿命化個別計画は令和4年度から実施予定だったが、学級編成や支援学級の2学級増設等の理由から前倒しに

なっているが、何ら疑問は感じないか。

小谷議員 事業に反対では無いが、説明は厚生文教常任委員会・全員協議会を1回だけで現場も知らない。学校の実態も正確に把握できていない状況で判断をするに至っていない。

討論

修正案に反対

- ・第2庁舎建設計画については、公共施設管理計画の趣旨に沿ったもの。学校の大規模改修の前倒しについても教育現場の安全確保のために実施すべき。

- ・地域社会の資産形成を促す社会保障などの政策を実行し、推進していくための調整に必要なもの。
- ・令和5年度までに終わらなければなら

ないので、有効的な合併特例債を生かして事業を実施すべき。

修正案に賛成

- ・第2庁舎建設や中学校大規模改修について全面反対ではない。防災機能を持った施設は必要であり、平時には会議室、議会の時は議場、有事の時は災害対策本部とすることで面積と事業費の縮減ができる等、議論する時間を作ることが大切。

修正動議とは

議会に提出された最初の議案の内容について、会議中に修正や変更を求める議題を議員が提出すること。尚、修正の動議は、会議規則によって文書によるべきこととされている。

条例の制定(抜粋)

- 1. あさぎり町国民健康保険財政調整基金条例の一部を改正する条例の制定について**
老人保健医療の後期高齢者医療への制度移行によるもの。
- 2. あさぎり町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について**
健康保険法施行令等の一部を改正する政令により、出産育児一時金の給付額見直しが行われたため。

人権擁護委員推薦につき、意見を求めることについて(諮問)



酒井 たつ代氏
(須恵地区屯所)

令和3年11月15日付けで、あさぎり町長より意見を求められた、人権擁護委員法第6条第3項の規定による意見として適任とするもの。

町道の線路認定について

鍋山山口線

起点：大字深田鍋山 1562 番地 19 地先
終点：大字須恵山口 3012 番地 1 地先

指定管理について

あさぎり町ふれあい福祉センターの指定管理者を下記のとおり指定する。

あさぎり町岡原北 929 番地
社会福祉法人 あさぎり町社会福祉協議会



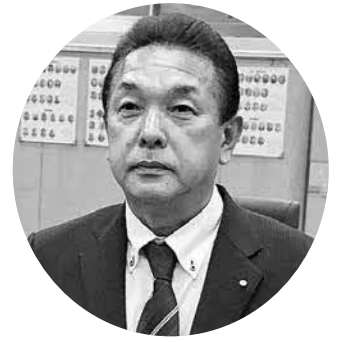
表 決 一 覧

令和3年度第4回会議 表決一覧表(抜粋)

議案・認定	議員名	小谷	岩本	難波	加賀山	橋本	小出	豊永	山口	永井	皆越	小見田	溝口	森岡
町道の路線認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度あさぎり町一般会計補正予算(第6号)について		×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×
令和3年度あさぎり町一般会計補正予算(第6号)に対する修正案		○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○
あさぎり町ふれあい福祉センターの指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分した和解及び損害賠償の額を定めることの報告について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問します。



議員 岩本 恭典 (いわもと やすのり)

空き家および

空き店舗対策は

の腐食とその他ガラス破損というものがあつたが、「特定空き家」に該当する空き家は把握していない。

議員、学識経験者、そのような構成で協議会を立ち上げて空き家対策の計画を立てていく必要があると思うが。

人、あるいは後継者の新規事業参入に対して「産業活性化基金」を使って支援ができないか。

問

災害対策、関係人口とのコミュニティづくりの活用という面から、「空き家」の継続的な調査と「特定空き家」の件数を把握しておく必要があると思うが。

問

令和4年度に空き家調査、空家等対策計画の策定を計画し、その中で協議会の構成メンバーも考えながら計画の策定をしていきたい。

問

「球磨サイクリングロード」を活用し、人吉球磨の復興に繋げる事について

その他の質問事項

問

平成26年公布された空き家等対策の推進に関する特別措置法では、「市町村の責務」として空き家等対策計画の作成及び実施に努めるとあるが、あさぎり町の「空き家」の状況は。

問

倒壊したり衛生環境が悪化したりする恐れがある物件は、市町村が「特定空き家」に指定し、改修などの指導令を行い、従わない場合行政代執行で強制撤去をする権限を認めているが、「特定空き家」に該当する件数は調べているか。

問

特別措置法の第7条に市町村は、空き家対策計画の作成及び変更並びに実施に関する協議を行うための協議会を組織することができる。地域住民、議会

問

少子高齢化で商業店舗の増加が予想されるが、空き店舗対策についての町の考えは。

問

あさぎり町で「空き店舗」を利用して事業を始めたかと思っ

総務課長

消防団の協力を得て、平成27年と平成29年にも追加調査し、当時489件の「空き家」を把握している。

総務課長

空き家に関する苦情等は令和2年が16件、草木の繁茂、家屋

総務課長

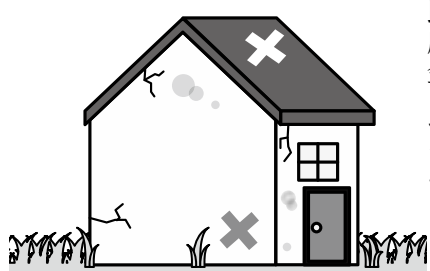
関係する総務課と商工観光課、町民課で協議を行ったところで、あさぎり町空家等対策計画を策定する必要があると思っ

商工観光課長

地方公共団体以外で空き店舗を活用した場合、特別交付税措置があるので、その制度の仕組みづくりを検討していければと思っ

商工観光課長

産業活性化協議会があるので、商業の関係団体と参考にさせていただきます。



一般質問10人が登壇

行政区設置を

条例に格上げを

することも関係部署で検討していきたい。

問 認可地縁団体(区)の基本となる規約の中で、区の解散は区民の4分の3以上の承諾を得る。また、財産の取得・処分は、区民の3分の2以上の議決を要するなど、重要な事項は統一しておくべきではないか。

問 行政区に法人格(認可地縁団体)を与え、行政区に移譲するため、行政区設置を条例に格上げすべきではないか。

町長 行政区の統合も進めており、その中で公民分館を認可地縁団体(区)で管理してもらおうことも計画しているのですが、公民分館規則を条例に格上げ

問 行政区の統合について、素案が示されたが、ある程度の期間が必要ではないか。今後の進め方としてどのように考えているのか。

町長 早急には無理だと思う。やはり時間をかけて機運を盛り上げていく必要があると考えている。まずは分館活動などを一緒にできないか提案していきたい。

問 令和2年3月25日に制定されている「自主防災組織連絡協議会」が、一度も開催されていない。行政区の代表者が意見交換や活動報告をすることで、地域の防災活動の参考となり自主防災組織の活性化が図れるのではないか。

総務課長 56の自主防災会があるが、現在は、橋本管理監の方で講習会や講話等を開催していただいているが、連絡協議会は今後充実していきたい。

町長の会議出席の費用弁償の見直しを

問 町には多くの組織があり町民の方々には組織の一員として、会議に出席していただき行政運営に協力いただいている。その時支払われる費用弁償は、1,100円

であるが郡市の自治体で最低に近い金額である。熊本県の最低賃金は時給821円である。最低2時間は拘束される会議からすると郡市の平均位に見直すべきではないか。

町長 金額が妥当なのかどうか疑問を持ったことはある。見直していかねばならないと考えているが、他の報酬とかの絡みもあるので今の制度を見直しながら検討していきたい。

自主防災組織活動強化 事業助成金制度の制定を

問 地区の防災計画の作成を推進されているが、防災活動を行うあたり地区住民の命を守るために必要な備品の充実が重要である。自主防災組織活動強化事業助成金制度の制定ができないか。

総務課長 相良村において、防災関係事業、防災、資機材の諸経費等に限度額20万円。災害対応事業、避難所運営関係で限度額50万円の助成制度が作られている。制度の制定について検討していきたい。



みぞぐち 溝口 議員
みねお 峰男 議員



避難所運営キット



避難用具/防災バック、ヘルメット

一般質問



こたに せつお 議員
小谷 節雄

コロナ禍対応への検証と

今後の取り組みは

問 ワクチン追加接種について、本町は期間前倒し方針に対応できる準備状況か。

健康推進課長 ワクチンが1月下旬にしか町に入っていないとのことで、現状での対応は難しい。

問 生活困窮自立支援事業での相談件数や支援実績は。

生活福祉課長 本年9月末までに、緊急小口資金の相談件数が59件、うち申請された方が57世帯。総合支援資金が相談件数40件で申請件数も40件。

問 18歳以下への10万円給付による支援策などについて、制度の在り方や平等性の観点などからどのような感想を持つか。

町長 専門学校生や大学生、生活困窮の線引きなど、区分ぎりぎりの方たちは不平等感があると思う。

問 そんな国の施策の網の目から漏れ落ちるようなケースについては、財政負担とのバランスをとりながらも、住民の実情に寄り添ったきめ細やかな施策を実施しては。

町長 大いに検討していくべき事項だと思う。

町長 本当に生活に困っている人達の支えになるような取り組みができればと考えている。

行政事務の広域的取り組みは

問 国のガバメントクラウド構想から漏れる電算システム関係については、広域的なスケールメリットを求めるべき時ではないか。そのような取組に向けた協議などは進んでいるのか。

町長 必要なことはその都度10市町村長で議論し、必要により担当者でまた揉んでもらうという二段構えで取り組んでいる。

問 本町は地域包括支援センターを単独設置しているが、在宅医療等の医療との密接な関係性もあり、公立多良木病院を中心として一体化することにより、機能強化等のメリットが生まれると思うが。

町長 大いに検討していくべき事項だと思う。

社会福祉協議会との連携についても検討しており、近いうちに方向性を出したい。

7月豪雨被災後の防災対策の進捗状況は

問 川瀬地区における輪中堤整備案の検討状況は。

建設課長 県で柳橋川と井口川の整備計画を策定することと、それに併せて伊賀川の対策についても検討を依頼している。方針が分かれば地元で説明を行う。

問 調査測量等の具体的なスケジュールはまだ明確になっていないのか。

建設課長 今年度内の着手は難しい状況にある。

町長 県の基本計画策定後に再協議をしても良いとの事なので、それを待っている状況だ。



令和2年7月豪雨時の川瀬地区浸水状況

ガバメントクラウド構想とは

国が整備し提供する共通のな情報システムの基盤・機能を、地方自治体も選択し活用することができるようになる。

町の活性化へ向けての 意見聴取の在り方は



有効活用が期待される提案箱

度、町の姿勢に対するご指導等については適宜対応している。

問

総合窓口が出来て直接尋ねたり要望に対応出来るようになってはきている。合併特別債のタイムリミットまで残すところ後2年少しとなった。公共施設の個別計画についての住民説明会も

ている。

議会も議会だよりの町の町民の声や中学生議会の開催など議会への関心のみならず様々な年代の意見を広く伝えるようにしている。

役場本庁舎、支所の窓口には住民が直接関わる事の出来るご意見箱（提案箱）が設置されているが、ホームページや投書の活用状況は。

総務課長

提案箱への投書は年に1、2件くらい。

企画課長

ホームページへの投稿数は年1500件程

町の推奨商品、 販路拡大の工夫は

問

現在ホームページには26の推奨商品がアップされており、ふるさと納税の返礼品にも活用されている。今後もっと様々な業界を巻き込んだ戦略が必要だと考えるが。

町長

産業の活性化、地域の活力、農村農業を持続可能な産業としていくためにはまず力のある人（知恵やノウハウのある人）の力を借りていく事が大事。

問

あさぎり町の推奨商品は球磨人吉でもオンラインワンである。その取組は。

商観課長

町で生産された優れた産物に付加価値を付ける事で販売の促進等や町のイメージアップを図る事が出来る。

問

地域商社あさぎり財団は将来的には農業支援センターも一緒となったものに育っていくと思うが、推奨商品、販路拡大等ふるさと振興社の担うものは大きいと感じている。しっかりと機能するためにも専任で従事出来る人材の確保や位置づけをする事は必須だと思いが。

町長

新しい商品開発の部分の強化に色んな企業に参加（企業版ふるさと納税や人、機材等の提供等）いただきながら、6次産業化にも取り組んでいきたい。



ヘルシーランドやコンビニでも販売中の推奨商品



かがやま
加賀山
瑞津子
みつっこ
議員

問

町は重要な事案や目標設定等を決める際に広く住民から意見や情報を収集するためにパブリックコメントを活用し



みなこし てるこ 議員

麓城・谷水薬師周辺の駐車場確保と

全体的整備計画は

いない。

問 印をつけた立木があるが、伐採についての検討は。

商観長工 まだ話はしていない。立木を切り出す場合は作業道などもあり、まだ計画が見通せないため止まっている状態。

問 保存会の方も、河川の堆積土を運んできたら手早くできるという事も言われているが、話は全然ないということか。

商観長工 数年前から話はあったが、道路改良計画に合わせて先延ばしになっている。

問 現在の駐車場をより良く整備する事で費用も少なくなると思いますが、保存会の方との話し合いが必要ではないか。

商観長工 要望書が出ているので一体的に協議していく。

問 交通アクセスでは人吉ICより30分。くま川鉄道あさぎり駅より16分とみることができ、来客者に親切に分かるように案内するのが案内

版だと思うが、ガードレールに白黒で見にくい、案内版が小さいと言った声が聞こえてきたが、取り付け後の確認は。

商観長工 今後は反省点を活かしながら進めていく。

問 麓城址へ西側からの遊歩道、ハイキングコースが3つあるが、整備状況は。

商観長工 一つは2年前に工事費も計上したが作業道掘削等があり、文化財という事でその様な行為ができないため中止している。2つのコースの整備の計画はない。

問 登って確認されたのか。

商観長工 確認はしていない。

問 宮川内公園から登るコースは麓城址まで70分と案内してあるが、課内で検討、確認し案内版を取り除くなど早急にして頂きたいが。

商観長工 確認して通れない状況であればそういう対応をしたい。

問 保存会への委託料については。

商観長工 実績で精算されるので、予算的には要求分を勘案し、次年度へ向けて進めていく。

問 学校での麓城址への知識認識度は。

教育長 上小学校では1年生で秋を探そう、3年生で地域を知ろうという総合的な学習の中では麓城址へ行って歴史等についても学んでいる。

問 ホームページの麓城址の情報は。

企画課長 折々の紅葉の加減などを取材し、写真なども掲載している。

町長 麓地区の皆さんとも協議し、最善の方法を検討していく。

問 拡張予定の300mの土地の売買は済んでいると思うが、現在の進捗状況は。

建設課長 用地取得分については、今年度から工事を着手する。先月入札を行った。

問 300mの入札か。

建設課長 全体の計画は320mで、今年度工事予定が107m、残り200mは来年以降、再来年をめぐりに工事を完了したい。

問 本年度中は無理か。

問 地権者への連絡は。

建設課長 工事に入る前に地区に回覧等で示し、看板も設置する。

問 薬師入り口の周辺空地进行駐車場化する検討は。

商観長工 話は聞いていますが、まだ検討には入って



検討中のハイキングコース



豊永 圭一 議員

若者の定住に向けた環境整備と 都会からの移住促進は

問 あさぎり町の平成27年国税調査による人口は1万5,523人で、5年前と比較して1,115人、6.7%の減少となっている。人口に占める生産年齢人口の割合が55.1%から51.5%と減少しており、若い世代を中心とした人口の流出が進んでいる。このような状況に歯止めをかけるために、第2次あさぎり町総合計画後期基本計画には、企業誘致や地場産業の育成など、働く場の確保や若者が魅力を感じるまちづくりを今まで以上に強化する取り組みが必要だとある。人口減少や人口構成の変化が将来の地域住民の生活や地域経済に与える影響は大きい。若者定住に向けた環境整備等、都市からの移住促進が挙げられるが、現状の課題と対策は。

町長 若者の定住については、町にとっては喫緊の課題。やはり若い人たちが定住してくれて結婚、出産、子育てをやってくれることで大部分の課題が解決していく。まち・ひと・しごと地方創生でも、若者が活躍するまち、そして豊かなまち、要するに稼げるまち、安心して子育てができる、また老後を送ることができるものを今組み立てていくところ。

問 9月議会に基金の組み替えで産業活性化

新築、また既存店舗の改装または増築の費用の一部を助成、また個人住宅リフォーム等では、町内に住所を有する施工業者を利用するという条件をしている。企業誘致は、あさぎり町誕生から13件の実績となっている。

基金には約3億円積立する予定だが活用計画は。

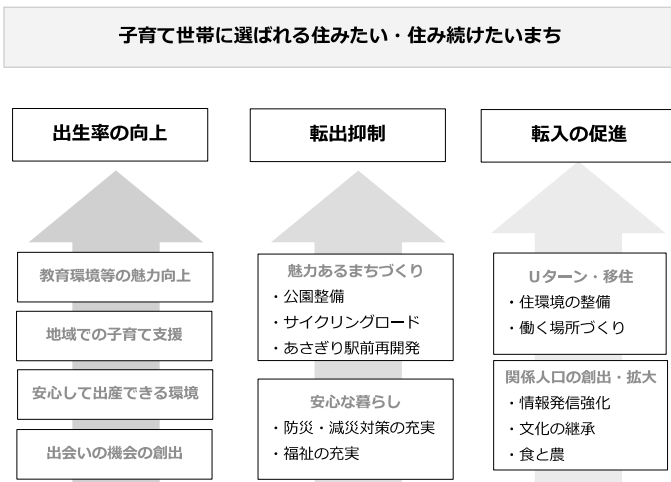
問 企業誘致及び中小企業事業者の育成等の現状は。

育成支援では、中小企業大学校での各種の研修の受講料の一部の補助、町内の中小企業自らが営む事業の近代化するための資金の融資を受けた場合に利子補給、店舗の

現在、法人、個人の商業者で、機械設備等を導入する場合の一部を補助する商工業振興補助金は計画している。その他については、今後、関係団体と協議しながら計画していく。

5. 具体的な施策と重要業績評価指標

基本目標1 人口減少を和らげる（若者が活躍する町まち）



第2期あさぎり町まち・ひと・しごと創生総合戦略より
具体的な施策と重要業績評価指標



橋本 誠 議員
はしもと まこと



人吉球磨能力開発センター

人吉球磨能力開発

センターの今後は

償で貸与し、貸付け今日まで活用されてきた。昨年7月の豪雨災害により土地の所有者である人吉市は、人吉球磨能力開発センター及び人吉市シルバー人材センターが立地する用地を災害公営住宅の建設用地とすることを球磨郡町村長、各種関係団体等に報告し、令和4年3月までの明け渡しの要請があった。

の多額の費用、受講者の確保、3つの課題が今議論となっている。

みたい。

問 負担軽減を行い、存続するために自主講座を取り入れたらどうか。

商観長工 現在は介護講習については情報処理と合わせ、ハローワークが能力開発センターに委託して実施している。3か月間（12月から2月まで）で6人の受講者を募り、

問 職業訓練校である人吉球磨能力開発センターは、移転先を見つけて自主講座の継続は業界にお願いし、普通課程と短期課程を存続できるように希望するが。

町長 10市町村長とも協議をしていきたい。

その他の質問事項

コロナ禍後これからの町の取り組みは

問 これまで多くの大工や配管工、電気工事技師、型枠大工を輩出してきた人吉球磨能力開発センターが、令和2年7月豪雨災害からの生活再建支援の一環として同地に災害公営住宅の建設を計画し、令和4年3月までの明け渡しの要請があったと聞くが、このことについて対応は。

合され、熊本県立人吉高等技術訓練校の施設を引き継ぎ、人吉球磨地域住民を初め関係機関、各事業所等の支援協力により職業人として才能ある技術者の養成と生涯訓練を通じて、本地域の経済社会の発展に寄与することを目的に平成10年4月に職業能力開発促進法に基づき設立された職業訓練法人。土地建物は人吉市が熊本県から購入し、開設以来職業訓練法人人吉球磨能力開発センターに無

町長 職業訓練法人人吉球磨能力開発センターは、平成9年度末をもって熊本県、熊本校へ統廃

は、平成9年度末をもって熊本県、熊本校へ統廃

問 在校生の令和4年4月以降の継続はどのようになっているのか。

普通課程2年コースの令和4年度については、講師所有の作業場にて実施されると聞いている。その後の検討を今から継続して行うこととしている。

問 人吉球磨能力開発センターの存続を働きかけては。

人吉球磨能力開発センターの存続を働きかけては。

町長 臨時総会の中で、代替用地、移転する際

代替用地については、あさぎり町の生涯学習センターを活用してはどうか。

問 代替用地については、あさぎり町の生涯学習センターを活用してはどうか。

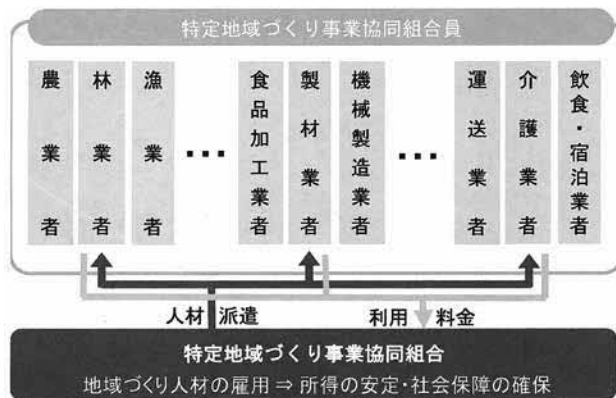
町長 合併して空き施設があるのはあさぎり町なので、その中で使えるもの、移転費用の算出など検討しながら協議して



建築配管工の授業の様子

地域商社

あさぎり財団の設立は



令和5年立ち上げ予定の特定地域づくり事業協同組合



小見田 和行 議員

問 あさぎり町の集落営農組織、作業受託法人等も、高齢化とオペレーター不足などで脆弱

しつつあり、条件不利地の農地の維持、営農継続等の将来の不安は山積している現状である。これに向けた対応策として「ふるさと振興社」「農業支援センター」を統合したあさぎり商社が設立準備委員会を立ち上げられ、いよいよ動き出そうとしている。大いに期待しているが地域商社の具体的イメージが今ひとつ解からない状況にある。現時点で抱いている構想、経営戦略は。

町長

担い手不足、労働力不足に対応するため特定地域づくり事業協同組合を令和5年には立ち上げたいと考えている。労働力の確保は大きな課題と考えているが半農半X(エックス)・外国人労働者を含め多様な人々の力を借りてやっていきたいと考えている。スマート農業の推進においても実証試験的にIOTで管理する農業用ハウスをつくってみようと、県にも提案している。商社を運営する人材として、交付税措置で地域プロジェクトマネージャー、いわゆる民間から色々なノウハウを持った人を用いる準備を進めている。あさぎり町に無いものを外から力を借りてやっていきながら、町民の皆様や色々な人達が力を付けて一緒に力を合わせてやっていく、あさぎり町は本当に素晴らしい農業地帯であり農村であるので、持続可能な「まちづくり」をやっていきたいと思っている。

問

現在も集落営農組織は将来に向けた農業機械の導入、オペレーターの確保等、課題も多いと思うが組織における二重投資の回避のためにも、あさぎり商社が支援できる内容等の公表を早めに行うべきではないか。

町長

商社が何をやるんだという事がわかり易い説明ができるよう準備をして、できる事できない事は明確にしていきたい。

農地基盤の点検と整備は

問

第2次構造改善事業から約50年経過し、畦畔、法面、排水施設等の劣化が進んでいる。多面的機能支払い制度等で対象外となる補修整備も多くなってきた。このまま放置すると防災上不安

もある。水田における雨水貯留機能維持や農業生産性の向上に向けてもこれらの施設の点検、調査に取りかかる時が来た様に思うが。

町長

緑の流域治水における「田んぼダム」の試験でも畦畔が非常に細っている事が判明し、基盤整備の見直しなども県は把握している。国としても農業用排水路の強靱化へ向けた検討策も持っている感触はある。

その他の質問事項

新公会計の活用について

半農半Xとは

自分と家族の分を自給農業して、余った時間Xを自分の好きな事や好きな仕事に充てる事。



たかあき 高明 議員
こいで 小出

今の町政の現状と課題は



問 あさぎり町が合併して19年目になるが、

今、町政において、合併特例債が令和5年までという事で、それを使わないともったいないという流れになっていと思う。本当にそれでいいのか。

町長 もつたないという流れになっていという考えは、最初からない。その利用については、その都度検討されてきているものと理解している。

問 今の時点で解体等もかなり上がってきて

いるが、解体後の計画、後は何をするのかという事を決めて取りかからないと、ただ解体して更地にして、そういうやり方でいいのか。

町長 今のところ何も計画はしていないが、あまり早く計画を立ててしまつと後々変更とかが出てくると思う。慎重に検討しながら再利用を図っていききたい。

問 例えば今回、免田中と岡原中跡のプール解体も上がってきている。2つで6千万円の解体費用だが、今解体するのでなく、免田地区では大災害の時の防火水槽に利用する等、十分検討しながら使い道を考えたほうがいいのでは。

町長 防火用水の考えもあると思うが、消火栓も整備されているし、防火という意味では備えがあるので解体していく。

問 9月19日、25日までの公共施設個別計画住民説明会、参加者は5地区で125名。あさぎり町の世帯数は5,948世帯、僅か2%の参加に過ぎない。

町長 皆さん方には開催の周知は十分伝わっているとと思う。125名の参加で住民説明会は、十分役割を果たしている。

問 住民説明会用の参考資料の中で、今後の方針、財政への影響、合併特例債の適用は令和5年度までという事で6年度以降は全額町負担となる、という書き方。また、実負担額以上の基金があり、既存事業への圧迫感が発生しない。こういう書き方、こう断言していいか、それを強く言ったら参加者からは何も意見は出ないのでは。

町長 これだけの事業をしていく中で、財源は大丈夫なのかと思われるから、今の現状はこうなんですと話をした。

問 説明会の最後に、それぞれ20名程度の少ない参加でも、意見が出なくなつたら理解をしたと受け止め事業を進めていく、とその場を終わつていくやり方、これは民間とか企業なら私はそれでいいと思うが、行政は、コロナ禍で地区の集まりもなく情報が伝わらない中、目標達成のために計算されたやり方のよりに思う。こういうやり方で本当にいいのか。

町長 確かに125名という数字は少なかつたかもしれないが、ちゃんと広報したうえで集まって来た方々なので、もうそこで進んでいかなければならぬと考えている。



第2庁舎建設予定地の駐車場



永井 英治
議員

消防力強化への 対策は

問 今年4月上球磨消防組合の消防庁舎が完成し、上球磨地域の消防力が一層強化された。

しかし、長年の懸案である、あさぎり町内の西側地域への救急隊到着時間の短縮という課題は、依然として残ったままである。その対応策として以前からあさぎり町内に西分署を建設することや、消防の広域化（合併）の話はあったのだが、まずは本庁舎の建設事業を最優先させるということから、どちらの話も現在立ち消えの状態にある。しかし、その庁舎建設事業も無事終了したこの機会に、今後は、救急隊到着時間短縮という課題解決に向けて行政と議会が一体となって取り組んでいかなければいけないと思っているが。

町長 数年前のあさぎり町では、行政も議会も一致して西分署の建設を主張していたが、ここ近年では消防の広域化（合併）も視野に入ってきた。新聞報道によると、人吉球磨の各首長がそれぞれに慎重な意見交換をして再編時期を模索したという様なことも書かれている。他の首長さん達がどのような考えなのかまだ計り知れないところがあるが、丁寧な議論をしながら前向きに進めていきたい。現在、人吉下球磨消防組合では、昨年の豪雨災害で被災した西分署（球磨村分署）の建て替えと本部庁舎の移転が検討されている。緊急防災減災事業債の有効年度や指令台の更新も視野に入れて取り組んで行かれるとの事なので、私としては広域化がベストとは思っているが、それぞれの首長さんの考えを確認し、議会とも連携を

取りながら取り組んでいきたい。

問 現在、消防団の部の再編が協議なされているようだが、この事については部の実情を踏まえた上で取り組んでほしいと思うが。

総務課長 7月の消防団幹部会において、部の再編については5年後10年後を見据えて考えてほしいという事をお話している。また、それぞれの団と意見交換をして、協議しながら進めて行きたい。

問 年々減少傾向にある消防団員の確保に向けた取り組みとして、団員の待遇改善等は考えておられるのか。

総務課長 団員の勧誘については、それぞれの分団や部に任せているが、待遇

の面では、出動手当の見直しを上球磨消防団連合会で協議しており、団員報酬についても見直しを検討している状況である。

町長 団員確保には、家族の理解、協力も必要だと思う。団員の安全対策や装備についても、改善するところは改善し、家族から安心していただけるよう努力していきたい。



地域を守る消防団

南稜高校との意見交流会



球磨の地に人材の泉を掘る

熊本県立南稜高等学校長

増村 健治



本会を開催するにあたりましては、ご多様ななかにもかわらわず町議会議長徳永正道様はじめ、14名もの議員の皆様方にご参加いただき心から感謝申し上げます。また、あさぎり町には、平素から「連携協力に関する包括協定」ほか、物心両面にわたり、温かいご支援をいただいておりますことを、厚くお礼申し上げます。

さて、平成27年に選挙権年齢、また来年度からは成人年齢も18歳となります。しかし、投票率は依然として芳しくなく、今後も若者の社会参画がより一層期待されています。本会は、生徒たちが議会や政治を身近に感じ、地域

の将来を考えることを目的としました。SDGsの視点で地域のあり方を提案することで住民自治の重要性を実感し、地域を支える主権者意識も高まったと確信しております。

本校では、今後も建学の精神である「球磨の地に人材の泉を掘る」を掲げ、地域振興に貢献する人材の育成に取り組んで参りますので、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、あさぎり町のより一層のご繁栄と、議員の皆様方の益々のご活躍を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

あさぎり町議会活性化調査特別委員長

橋本 誠

公民科の授業の一環としている3年生（授業で政治経済を選択）から「SDGsの視点で考える 今後の人吉球磨地域の未来について」をテーマに意見交流会が12月23日南稜高校で開催されました。6つのグループに分かれて「地域の人が安心安全に暮らせる地域」「少子高齢化」「持続可能な農業の推進」などをテーマに関連するSDGsの項目

を示しながら発表があり、議員がそれぞれのテーマごとに講評しました。これからの人吉球磨の在り方について学んだことを実施していただけたらうれしく思います。議会活性化特別委員会としては今後、高校生議会の開催を計画し、議会に提案して頂いた内容については精査し、実施できるように執行部に提言していきます。

地域の人が安心・安全に暮らせる地域



1班 才藤 心夢さん 下津 美咲さん
立山 まひろさん

私たちのグループが発表した内容は3つの提案です。まず1つ目は「地域の街灯を増やしてほしい」ということです。私の家の近くも街灯がなく暗いというところに気づき、私たちのテーマを実現させる一步の課題ではないかと思いついた。街灯を増やす、青色防犯灯を設置する。2つ目は「子どもたちが遊べるような環境を作ってほしい」ということです。公園の厳格化などにより、外遊びをする時間が減っているという事が分かったので、解決策として安全に遊べるような遊具を増やす、室内遊具を作ってほしい。3つ目は「災害が起きたと

きの対応が遅い」ということです。熊本南部豪雨災害での経験を活かすため132名にアンケートをし、解決策としてラジカメの配布、堤防を高くする、防災バッグを配布する。発表することで、私たちが地域をより良くするという気持ちを強く持つことができました。提案をしっかりと聞いてくださり、細かいアドバイスもしてくださったのでためになりました。そして、私たちが知らないだけで議員の方が取り組んでいらっしゃることもあったので、地域全体で取り組みたいと思いました。

担当議員 溝口 峰男

「安心・安全のまちづくり」の政策を提案する為、しっかり現況調査をしていることに感心しました。3つの具体的な提案を伺い高校生ならではの発想に勉強させられました。防災対策は、「一人一人が自分の命は自分で守る」ことの意識を持つことが大事です。今回の提案を具現化する為にしっかり対応してまいります。満18歳から政治に参加ができるようになった皆さんも自分の生活に政治がどのように関わりがあるのか、さらに関心をもっていただき活躍されることを期待します。

少子高齢化について



2班 木村 楓さん 茂田 将輝さん
宮崎 孔明さん 椎葉 琉太さん

今回のあさぎり町の議員さんたちとの交流会はとても勉強になりました。あさぎり町の少子高齢化が与える問題についてよく知ることができました。特に作ってみて、少子高齢化が一番大きな問題は、あさぎり町や多良木町などの地方の人口減少でした。調べてみてあさぎり町が2045年には1万人をきるとされていて驚きました。なので私たちが後期高齢者になってしまう頃にはどうなってしまうんだろうと不安になりました。こ

担当議員 加賀山 瑞津子

のプレゼンを作っていく中で、色々な対策を調べ、プレゼンでも発表したようにアイルランドや岡山県の奈義町など、少子化対策を行い、成功させているのですごいなと思いました。でもその分税金が高いので、やはり難しい問題だなと思いました。今回のプレゼンで、あさぎり町や多良木町などの地方は私たちのような若い世代が少子化対策に取り組みないと町が衰退するのでしっかりと自分の生まれた土地に貢献したいなと思いました。

参考となる他の自治体(岡山県奈義町)や国外(アイスランド)へも目を向けた情報のリサーチがされていきました。その中で少子化対策についての課題を整理し、子育て支援の提案がありました。「物事の判断」を考えていく上でより多くの正しい情報を知る事はとても大事な事です。選挙権に併せて今後18才は成年年齢となります。皆さんの今後の活躍を期待します。

楽しく暮らせる街づくり

今回の意見交流会を通して、街づくりの難しさを学びました。私たちの班は、楽しく暮らせる街づくりについて発表しました。私たちが考えた案は、まず人吉球磨では少子高齢化が進んでいることを知って色々な改善点を調べました。他の地域が行っている対策を調べていき、少子高齢化についてたくさん学ぶことができました。2つ目に公園が少ないことに着目して人吉球磨の公園の数を調べました。人吉球磨には、たくさん公園があるけど豪雨災害の影響

3班 井手 綾伽さん
赤池 陽斗さん
吉田 亜里香さん
中村 輝さん



で仮設住宅になっていたりとか、他の班の方の発表を聞いて知ったのは、遊具の老朽化が進んでいることを知りました。公園についてもどんな場所に公園を作ればいいのかやどんな公園がいま必要なのか知ることができました。自分たちの発表を終えて感じたことは、まず調べが足りないと感じました。他の班の発表では、グラフや写真で見やすいスライドだったと感じました。改善点としてももう少し課題について調べて見やすいスライドを作りたと思います。

担当議員 豊永 喜一

人吉球磨からの若者の流出という現状から、若者にとつての魅力的な町づくりという観点から考察を行いました。検討するということでありましたが、4名が短時間の中で、おおまかに課題と対策等を提案してもらいました。過疎化が進んでいると感じる中で、高校生ができる過疎化の対策として、人吉球磨の良さをイン스타그램やツイッターで広める。求人などで、仕事の内容の幅広さを提供する等、提案されました。今後いろいろな面で、政治に関心を持ってもらえればと期待いたします。

持続可能な農業の推進

私たちのグループは、SDGsの目標の中で人吉球磨の課題として、若者が地域や農業に関心がないこと、農業を行う人の高齢化が進んでいることです。流行に伴い、農業に関する興味関心がなくなってきたと感じたため、地産地消や後継者不足につながるのではないかと考えました。

4班 土屋 望乃華さん
告川 由莉さん
渡辺 凜さん
望乃華さん
坂本 莉乃さん
凜さん



そこで、南稜高校3年生に人吉球磨の課題についてアンケートを取りました。結果から、人吉球磨の課題として高齢化に伴う後継者不足が課題ということ

が挙がりました。また、特産物を2つ以上知っている人はあまりいませんでした。このような現状を改善するために、地元 학생にSNSで地域の魅力を発信してもらうこと、小中学校で農業体験をもらうことを挙げました。交流会を終えて、私たちが提案した意見を取り入れようと議会の方が真剣な眼差しで聞いているのを見て緊張しました。この経験を社会人になっても活かして課題を改善できるようにします。

担当議員 小出 高明

高校生の視点から、農業の魅力化についての発表、後継者不足の現状、そして将来に向けた考えや課題、提案を聞かせてもらい大変参考になりました。持続可能な農業とは、安定した収穫ができる事、また、世界では飢餓が深刻な問題、この飢餓をゼロにする事を目標とされています。これからの農業はスマート農業等、やり方次第でもおもしろくなっていくと思います。夢ある農業へと展開していくよう若い皆さんの参入を期待します。

食品ロスをゼロに

発表の内容としては、色々な所で問題になっている食品ロスを無くすためにプレゼンを行いました。次に、SDGsの説明会を通して、世界の状況やSDGsの意味、この問題がSDGsとどう関わっているのかということにも気づくことができました。そういった下調べを元にグループで話し合いながら、自分たちなりの対策・提案を考えていきました。インターネット販売が一般販売より効率的だという考えを裏付けるためにREASASを活用しました。初めは使いこなすのが難しかったですが、先生に相談したり、講座を受けることで、地域の人口が減っ

ていることが分かり、そのため地域外に売り出すのが効率的だと裏付けることができました。このように、プレゼン制作はとも大変で上記の説明の他にもたくさん話し合いと改良を重ねるほど骨の折れる作業でした。しかし、授業の中で色々な説明会や講座を通して食品ロスという問題をもっと身近に感じることができました。交流会では、議員の方の意見を聞くことで自分たちのプレゼンを客観的に振り返れました。また、食品ロスについての意見をもらい、他のプレゼンを聞くことで、考えや興味が深まりました。いい勉強になりました。



5班 谷山 由桂さん 永溝 歩華さん
東 明日香さん

担当議員 難波 文美

国際的に注目されている「フードロス問題」は非常にタイムリーなテーマでした。日本において地域差はあれ、伝統的な『もったいない』精神は人々に受け継がれており、食べ物を粗末にしない取り組みは官民間問わず実行されていますが、高校生の視点から真摯に考えた『地産地消型の食品廃棄削減モデル』のアイデアは必ず実現させるべきだと感じました。フードロスの取り組みが、人々の生活を見直すきっかけとなり、健康維持にも大きな役割を果たす事を改めて確信した有意義な発表でした。今後とも町に対して関心を持ち続けていっていただくよう期待します。

SDGsから考える 住み続けたい町づくりのためにできること

私たちのグループでは、SDGsの17の項目から住み続けたい街づくりにするにはどうすればいいかを考え、人吉球磨の課題を出し合いました。住み続けたい街を作るには、「災害に強い街づくり」「人口減少問題の解決」「豪雨災害で被害にあった空き家の処理」に取り組むことが必要だと思い課題解決のためにできることを考えました。災害に強い街づくりのために被害を防ぐには川幅を広くするなどの解決策があげられました。人口減少を解決するには、楽しく遊ぶことができ子育て世代にも喜ばれる室内大型施設などを

作ると良いと考え、被害にあった空き家はそのまましておくとか老朽化が進み危険性が高くなったり、放火などが起こったりなどさまざまな被害が起こると考え、リフォームをしてシェアハウスや民泊として貸し出すなどの解決策がありました。この意見交流会を通して今まで以上にSDGsのことを知る事ができとても勉強になりました。また、今まで気づけなかった人吉球磨の課題を知ることができました。自分たちが思ったことをしっかりと伝えることができたい発表ができたと思います。



6班 荒嶽 雲奈さん 一井 玲真さん
長岡 蒼美さん 本田 美風さん

担当議員 永井 英治

このテーマを二つに絞り、一つ目の「災害に強い町づくり」については、豪雨災害時に被災した家屋の現状と課題、併せて、川の氾濫を防ぐための河道拡幅や河床掘削の提案がなされ、二つ目の「過疎化・少子高齢化・人口減少」については、データに基づいた現状と、その解決策として、働く場所の確保やスポーツ施設や公園の整備等の提案がなされました。いずれも、住み続けたい町づくりに対する確かな現状の認識と、課題解決に向けた素晴らしい提案がなされました。

令和3年度 熊本県町村議会議員研修会報告

広報調査特別委員会 副委員長 岩本 恭典

10月6日、熊本県町村議会議員研修会があさぎり町議会議事堂議員控室でオンライン形式により実施された。流通経済大学教授・ジャーナリスト 龍崎 孝氏による「日本の政治経済の展望」という演題で講演が行われた。

(研修を終えての感想)

今回の演題は、「日本の政治経済への展望」であるが、内容としては自民党新総裁誕生までの内部の派閥争いの経緯の説明が主であった。

ただ、今回の組閣で地元出身の大臣が誕生した事は大いに喜ばしい出来事であり、金子新総務相には、就任会見での「災害対策」「デジタル田園都市構想」をスピード感を持って行っていただき、地方活性化を進め、東京一極集中を是正してもらいたい。



令和3年度 熊本県町村議会広報研修会報告

広報調査特別委員会 委員長 小谷 節雄

11月15日、議会広報研修会があさぎり町議会議事堂議員控室でオンラインにより開催された。事前に参加町村議会広報紙を確認しコメント等を出し合っただけの進行で、スムーズな意見交換や講師の指導を頂くことが出来たが、コロナ禍におけるリモートによる研修会の在り方としてしっかり定着した感を強くした。

(研修を終えての感想)

本町議会だよりに対して、「色使いや写真の活用」、「読み手の立場に立って」などの指摘を受けたが、私たち広報委員会としての日ごろの活動における問題意識と一致したものも多く、今後の具体的な紙面づくりに反映できるよう活用していきたい。



より良い「議会だより」づくりを目指して

常任委員会報告

総務建設経済常任委員会

○9月30日(木) 午前9時

議会議事堂 議員控室

【所管事務調査】

①現地調査について

(農林振興課・建設課)

・深田西 フルーティールード北

側土砂排入地

・上西 ウエムラテック南側土

砂排入地

・皆越 ダムの土砂排出予定地

・免田 岡留公園東側急傾斜地

意見

熱海で起きた土砂災害を教訓として、町独自の条例を制定し規制していくべき。

○10月26日(火) 午前10時

議会議事堂 議員控室

【所管事務調査】

①給与改定について

(総務課)

②須恵地区中央浄水場の状況について

(上下水道課)



田頭川堤防現地視察

意見

配水池の状況を24時間見守りながらの給水作業だが、住民の方には最低限迷惑が掛からないように努力をお願いする。

【委員会付託案件審査】

③要望書(木村製材所)について

(総務課・商工観光課・農林振興課)

④要望書(田頭川堤防舗装)について

(建設課・農林振興課)

⑤農業委員会への女性登用に関する要望書について

○11月19日(金) 午後1時30分

議会議事堂 議員控室

【所管事務調査】

①一般会計補正予算(第6号)について

(財政課)

給与改定に伴う人件費等

②一般会計補正予算(第6号)について

(総務課)

第2庁舎建設実施設計委託料等

③一般会計補正予算(第6号)について

(企画政策課)

地デジの再送装置の更新等

④一般会計補正予算(第6号)について

(農林振興課)

林道施設災害復旧工事請負費

(岡本・榎田大川筋線)等

⑤一般会計補正予算(第6号)について

(商工観光課)

移住定住促進事業補助金等

⑥一般会計補正予算(第6号)について

(建設課)

今井中学校線補償鑑定委託料他

⑦町道の路線認定について

(建設課)

⑧下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

(上下水道課)

人件費(時間外手当)等

議場へきれいなお花を
ありがとうございます

今年もあさぎり町商工会女性部から、第4回会議(12月定例会)にお花をいただきました。毎年12月定例会にお花を寄贈していただいています。



厚生文教常任委員会

○10月28日(木) 午後1時30分

議会議事堂 議員控室

【所管事務調査】

①令和4年度町内集団健診について
(健康推進課)

令和3年度までは各校区で実施していた集団健診を、高齢受診者の健診会場における転倒事故防止等の配慮から会場を「せきれい館」一箇所で開催したい。

意見

シャトルバスの乗車場まで自宅からの距離の問題とか、他の疑問点も出されたので、課内で再検討すること。

②ふれあい福祉センターの今後の
利活用について
(生活福祉課) (高齢福祉課)

令和3年4月にオープンしたものの新型コロナウイルス感染防止のため、制限を加えながらの利活用となっているが、現在までの利用状況と今後の課題について。

意見

今後は、とりあえず多くの皆さんにこの施設を知って使っていただくためのPRが必要であり、ネーミングを広く募集してはどうか。



深田阿蘇神社



築地熊野神社

③学校規模等適正化審議会の審議内容について
(教育課)

11月24日の中間答申に向けての審議内容について報告を受けた。審議会から示された方向性は

- ①1校に統合する。
- ②複数校で統合する。
(複式学級の問題解決)
- ③5校を残す。
(複式学級になっても5校残す)

(複式学級になっても5校残す)

④文化財現地調査について
(教育課)

意見

深田阿蘇神社、築地熊野神社の劣化が激しく早急の修復が望まれる。

○11月18日(木) 午後1時30分

議会議事堂 議員控室

【所管事務調査】

①一般会計補正予算(第6号)について
(町民課)

家庭ごみ、家庭生ごみ・生ごみの収集運搬、処理業務におけるの債務負担行為の限度額がそれぞれ100万円ずつ増えているのは、人件費、燃料費の高騰による。

②ヘルシーランド指定管理委託料の債務負担行為について
(生活福祉課)

令和4年から5年間、1億7,197万円となっている。

問 特記仕様書に沿った管理はなされているのか。

答 写真管理等の説明も詳しく伝え、指定管理者と十分協議を行っている。

③あさぎり町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
(健康推進課)

産科医療制度の見直しに伴い、本人給付分が4万4,000円から40万8,000円に引き上げられる。

④令和4年度町内集団健診について
(健康推進課)

再検討しての今回の提案であるが、シャトルバスを各公民館からせきれい館の間を運行し集団健診は深田「せきれい館」一箇所で開催したいとの方針が伝えられた。

意見

現地の地図、シャトルバスの利用法等を含め解りやすく通知してほしい。



⑤一般会計補正予算(第6号)について
(教育課)

旧免田中学校プール及び旧岡原中学校プール解体工事、上小学校屋根改修工事、あさぎり中学校長寿命化改修事業他。

一部事務組合報告



公立多良木病院企業団議会

○12月3日(金)

第3回定例会が開催された。
2名の議員による一般質問の後、承認第6号と議案第11号について、いずれの議案も全会一致で承認可決した。

議案の中で専決処分(補正予算)の主な内容は、新型コロナウイルス感染症患者の酸素化状態の診断にも使用する血液ガス分析装置を、故障のため緊急購入するもの。

また一般質問では、2期目任期終了後の去就について質された大島企業長より、今年度末の任期満了をもって退任する旨が表明された。

大島企業長が2期8年にわたり

尽くしてこられた当地域医療についての御功績に対して、深甚なる感謝の意を表すものである。



大島企業長



上球磨消防組合議会

○11月25日(木)

第2回定例会が開催された。
最初に、永井英治議長からの議長「辞職願」が受理された事により、新しい議長に多良木町の宇佐信行議員、副議長に本町の橋本誠議員が選出された。

認定第1号 令和2年度一般会計歳入歳出決算については、歳入総額8億7,312万8千円、歳出総額8億4,215万2千円、歳入歳出差引額3,097万6千円とする決算について、原案のとおり認定された。

一般質問では、多良木町の猪原清議員より、
①消防車両運行時の交通事故防止対策等について

②救急搬送要請時の活動内容等について

の質問があり、答弁では、関係車両や救急患者へは十分な配慮のうえ、対策を行っているとの事であった。



人吉球磨広域行政組合議会

○11月26日(金)

第4回会議が開催された。

①「令和2年度歳入歳出決算認定」一般会計及び特別会計の2件について、令和2年度決算特別委員会吉田委員長より審議結果の報告があり質疑採決の結果原案の通り認定した。

②令和3年度一般会計補正予算については、2,037万8千円を追加し総額23億5,223万8千円とした。主なものは、「焼却灰の運搬及び処分費」で1,548万4千円。ゴミ焼却後に発生した主灰を民間セメント工場まで運搬し原料として有効活用しているが、単価アップのための費用追加。また燃料費の値上がりによる増額もあった。

③湯前町にある福寿荘の買取りの申し出による財産の処分として1,610万円の歳入があった。



熊本県後期高齢者医療広域連合議会

○11月12日(金)

熊本県市町村自治会館において開催され議案第9号から議案第19号までの11議案及び一般質問が行われた。

令和2年度の熊本県後期高齢者医療広域連合一般会計及び後期高齢者医療特別会計を合計した総計決算額は次のとおりである。

歳入総額は2,930億5,832万548円 予算現額に対する収入率は99.6%となっている。

歳出総額は2,796億1,021万2,934円 予算現額に対する執行率は95%。翌年度繰り越しは134億4,810万7,614円となっている。

今年度の医療給付費は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による外出自粛等により、日常生活が制限される中、被保険者の受診控え等により減少しているが、「団塊の世代」が、後期高齢者医療の加入者となり始める来年度は、全国的に約4%増加する見通しであり、本県の被保険者数も同様に増加が見込まれ、医療給付費の抑制は引き続き大きな課題である。

令和4年、5年度の保険料率改定が、国から示されており11.77% 現行より0.38%の引き上げとなる。

また、窓口負担2割の導入、その他制度改正等により事務の負担が増加することが考えられるが、被保険者に対し混乱や不安を招かないよう、十分な周知・広報及び丁寧な説明や保険者としての運営機能の強化にも努めなければならない。

\\ 聞かせて //

町民の声

町内の方々に寄稿していただきました

長男の小学校入学のタイミングで、27年振りにあさぎり町に住み始め、早いもので6年が経ちました。

今では、地域の皆様方、学校、こども園関係の皆様方には大変良くして頂き充実した毎日を送っています。

我が家の3兄弟の子どもたちは元気一杯毎日を過ごしており、昨秋から地域の少年野球チームに入りました。週末の度に監督やコーチの方にご指導頂き、益々野球が好きになっているようです。まだまだチームメンバーの背中を追ってついでいくのが精一杯ですが、これからの成長が楽しみです。また、チームの保護者の方にも野球経験ゼロの親子共ども一から教えて頂き、大変感謝しています。

小学校単位での部活動からジュニアクラブでの活動になり、校区外の様々な方と知り合う機会が増えました。地元あさぎりになかった分、これからの出会いを大切に子育てに奮闘したいと思います。



岡原地区(永岡)

山田 陽光さん



このコーナーは町民の皆さまから議会に対する事や町への要望を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願い致します。



■表紙の写真について

令和4年の初日の出
高山から球磨盆地を眼下に黒原山を臨む



編集・発行責任者
議長 徳永 正道
副委員長 小谷 節雄
委員 岩本 恭典
溝口 和幸
山口 高明
小出 文美
難波 文美

編集後記
あけましておめでとうござ
います。冬、花の少ない頃、
ほのかに香るロウバイの花。
寒さ厳しい中にも少しづつ春
に向かっていくようです。昨
年末には新型コロナウイルスゼ
ロの日が続き、飲食店も賑
わっていましたが、また感染
力の強いオミクロン株が猛威
を振るい始め、1日も早い特
効薬の開発、そして収束を願
うばかりです。その上で、今
まで通りの町、地区の事業、
行事ができ、活性化に繋がっ
ていくことを祈念致します。

(小出 高明)

★お願い★「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材します。
議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。